



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

1月11日号（295号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

名脇役・平田満さん「役者をやっているのか」葛藤の50年

11日(日)=1、3面



俳優の平田満さんⅡ写真Ⅱは名バイプレイヤーとして、数々の映画やドラマに出演し高い評価を得ていますが、その原点には演出家のつかこうへいさん（故人）の導きがありました。

「俳優道」というものを厳しく仕込まれ、それが今も生きています。

また、映画「蒲田行進曲」で階段から転げ落ちたシーンは有名で、その時に共演した風間杜夫さんは平田さんを「僕の演技の師匠ですよ」と打ち明けます。

平田さんは近日公開の映画「安楽死特区」に出演しています。食事をかなり減らし体重を落として現場に臨んだといいます。鬼気迫る演技の秘密に迫ります。



迫る

Hanasone

ギフテッド特性を持つ

子どもたち 11日(日)=くらしナビ面



特定分野で優れた能力を持つ「ギフテッド」特性のある子のためのフリースクール・個別指導塾「Lagoon」代表のMaiさんⅡ写真Ⅱは、自身もギフテッド特性を持つ一人です。

他の子と比べて目立った実績を上げる子もいますが、環境や発達段階などさまざまな要因から、現時点ではむしろ「困り感」の方が目立つ子もいるそうです。

特性を持つ子どもたちの成長を支えるMaiさんが思いを語ります。



論点

今年の政権運営

伊吹元衆院議長に聞く

14日(水)Ⅱ総合面

憲政史上初の女性首相に自民党の高市早苗氏が就任して約3カ月が経ちました。無所属議員を引き入れた衆院は過半数を回復しましたが、参院は少数のままで、「ねじれ国会」の難しい政権運営は続きます。

首相が目指す「世界の中心で輝く日本」は取り戻せるのでしょうか。

自民党幹事長などを務めた伊吹文明元衆院議長Ⅱ写真Ⅱに聞きました。

特集 ワイド

この国はどこへ

試練の年に 吉村泰典さん

13日(火)=タ刊2面



日本人は忘れっぽいと言われますが、少なくとも政治課題についてはうなずく人も多いでしょう。少子化問題は安倍晋三政権が「国難」と呼び、対策を打ってきましたが、効果は見えません。安倍氏の後継者を自任する高市早苗政権からは危機感が伝わりません。

この先の見通しはどうなるのでしょうか。第2次安倍政権の内閣官房参与として少子化対策に関わった産婦人科医、吉村泰典・慶応大名誉教授（76）Ⅱ写真Ⅱに記者が直撃しました。